

**2002年度【2002年8月1日～2003年7月31日】  
特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ（アリスセンター）  
事業報告書**

## 2002年度の重点的な取り組み

### 1. 財政構造の転換「サポート財源拡大キャンペーン」

アリスセンターの財源の7割～8割は、行政受託を中心とした受託事業収入で、会費・自主事業による収入は2割程度にとどまってきました。アリスセンターの受託事業は、調査やモデル事業の企画・運営など、単年度事業であり、受託する事業や金額を予測することが難しい状況にありました。

このような受託事業収入に依存している不安定な財政構造を改善するために、2002年度は、会費や自主事業収入の拡大を試み、事務局の経常経費の基礎を支えられる安定財源の確保をめざしました。

特に、アリスセンターを多くの方に会員として支えてもらうために、会費や寄付を「サポート財源」として位置づけ、2002年12月～2003年5月の間「サポート財源拡大キャンペーン」を実施しました。

2001年度にらびとにゆうず（メールマガジン）の配信先の拡大、たあとる通信（季刊）の頒布の拡大などを神奈川県内にとどまらず全国に向けて展開した成果を、会員の拡大と会員の事業への参加など、アリスセンターの運営基盤の強化につなげることでには至れなかった反省に基づき、キャンペーンのターゲットは、既にアリスセンターを活用しているが具体的な支援につながっていない層と設定しました。

「民間の支援センターだからこそできるアリスセンターの実験事業や提言活動へ投資を呼びかける」というコンセプトで、キャンペーンチラシと新パンフレットを郵送して、入会や寄付の呼びかけを行いました。

同時に、会費納入の利便性を図るために、郵便口座からの会費自動引落を開始しました。

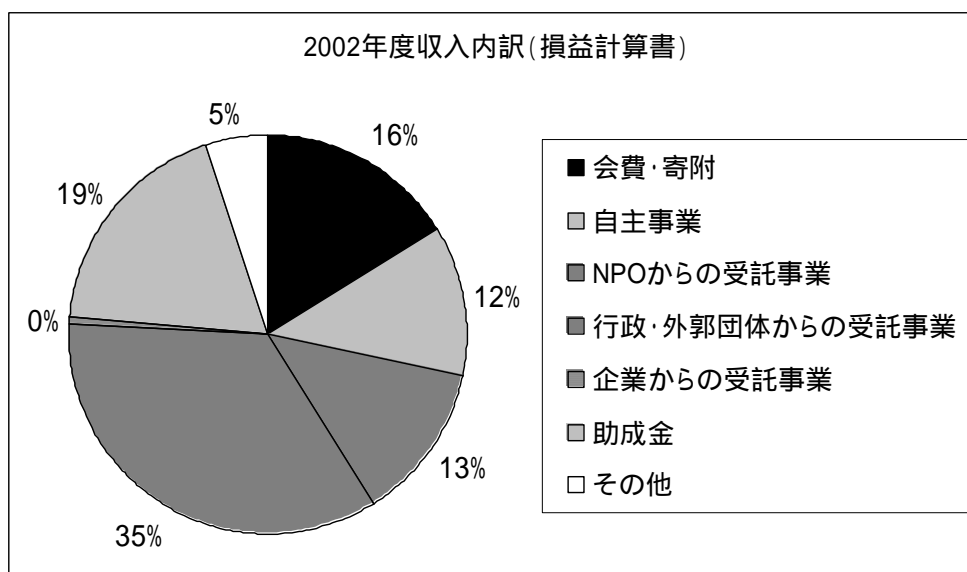
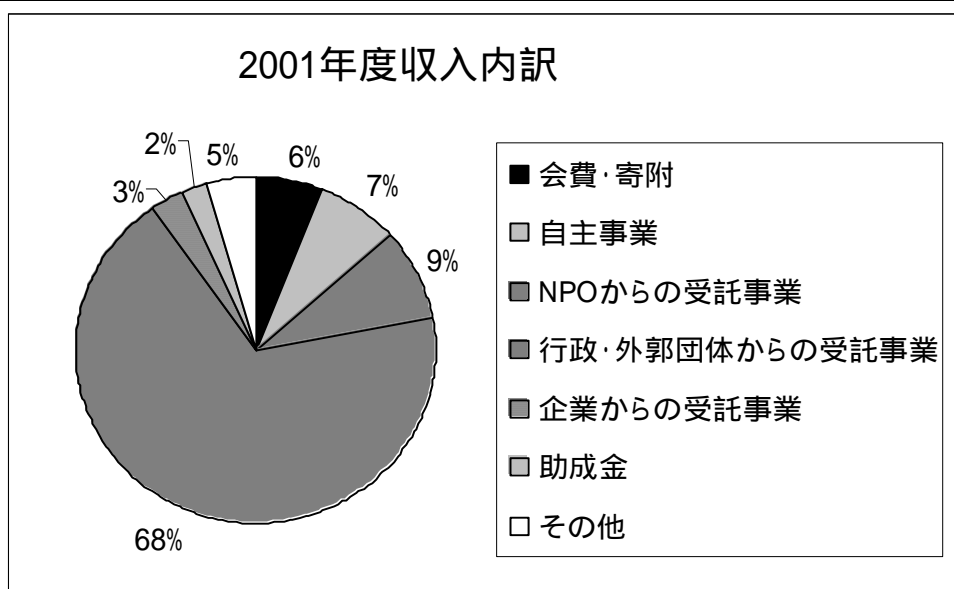
キャンペーンチラシ発送数	1,169 通	
キャンペーン支出	* 182,364 円	
新規入会者	正会員	19名 × 12,000円 = 228,000円
	準会員	40名 × 6,000円 = 240,000円
寄付金	54件 合計額 284,073円	
キャンペーン総収入	752,073円	

\* キャンペーン支出とは、新パンフレット・封筒・送料などで1通当たりにかかった発送単価(156円)の発送数分です。

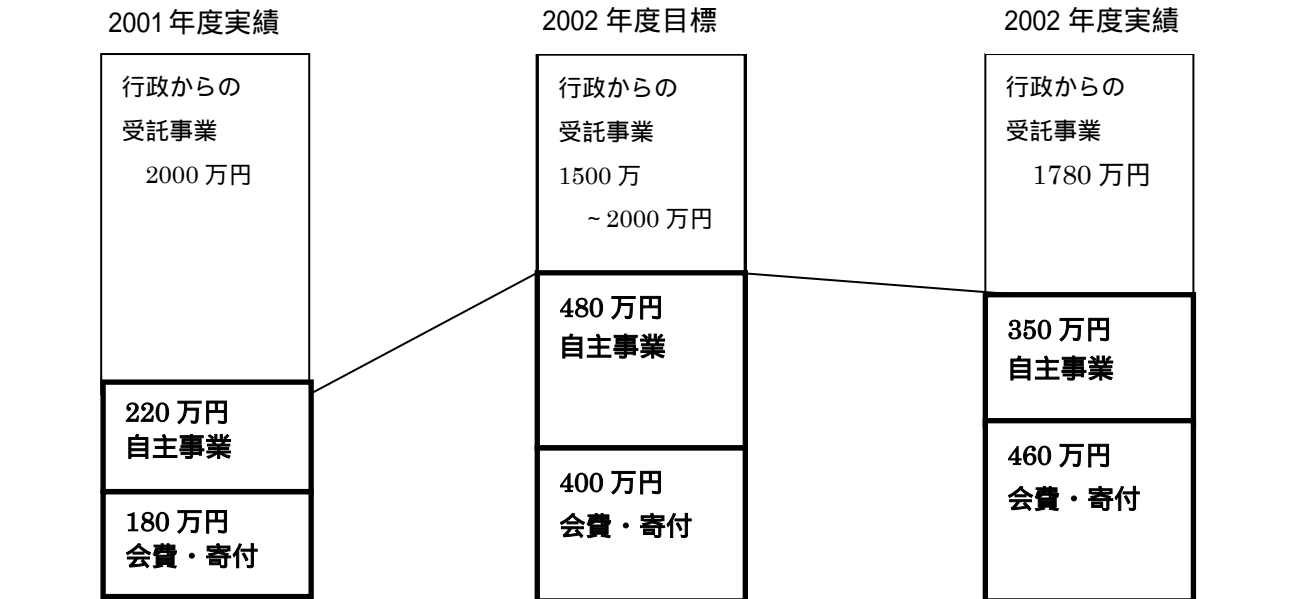
さらに、たあとるセミナー、NPO実務講座などの自主事業を積極的に開催し、2002年度の財源比率は行政からの受託35%に対して、自主財源（会費・寄付、自主事業収入）28%となっています。

## 2001 年度収入内訳と 2002 年度収入内訳比較

	2001 年度収入内訳 (損益計算書)		2002 年度収入内訳 (損益計算書)	
	金額	割合	金額	割合
会費・寄附	1,857,000	6%	4,598,073	16%
自主事業	2,229,000	7%	3,533,465	12%
NPO からの受託事業	2,629,160	9%	3,670,000	13%
行政・外郭団体からの受託事業	20,767,420	68%	10,007,700	35%
企業からの受託事業	904,460	3%	100,000	0%
助成金	690,000	2%	5,400,000	19%
その他	1,378,912	5%	1,409,761	5%
合計	30,455,952	100%	28,718,999	100%



## キャンペーンの 2002 年度目標と実績



### 2 . N P O の政策提案力を高めるプロジェクトへの着手

NPO が行政や企業からの支援や表面的な協力関係への期待に翻弄されることなく、地域課題の解決策を提案し実現するためには、NPO の「政策提案力」を高めることが必要であり、同時に、自治体施策においても、NPO の提案や地域の発意が反映されるようなシステムづくりが必要です。

そこで、その具体的な取り組みとして、2003 年 4 月からトヨタ財団市民社会プロジェクト助成を受け、NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター、NPO 法人市民活動センター神戸と共同で、「NPO の政策提案力の開発と、NPO の参画を保障する自治体の政策形成システムの提案」プロジェクト（NPO アドボカシープロジェクト）を開始しました。

プロジェクトは 3 年計画で、1 年目は、各地域における調査や研究会、3 団体が合同で行う会議などを通して、NPO の政策提案の実態や課題を把握し、政策提案力としてどのような技能や能力が NPO に求められているのかを探ります。

2 年目、3 年目は、NPO が政策提案力を高めていくための技能開発を行い、研修などを実験的に実施するとともに、政策提案のための手引書なども発行したいと考えています。また、NPO の政策提案が生かされるためには、NPO の参画を保障する自治体の政策形成システムも必要であり、その検討と、提案も行いたいと考えています。

2002 年 4 月～7 月には、3 団体のプロジェクトメンバー間で、NPO の政策提案についての共通認識づくりやプロジェクトの進め方についての検討を行いました。また、5 月 23 日には、プロジェクトメンバーが神奈川に集まり、外部の方もまじえて「NPO の政策提案を考える円卓会議」を開催したところ、オブザーバー参加希望者が全国から数多く集まり、NPO の政策提案についての関心の高さが伺えました。（詳細はたあとる通信 11 号で報告しました。）

また、たあとる通信 11 号では、NPO の政策提案を考える上で不可欠な要素である NPO と政治の関わりをテーマとして取り上げました。

### 3. NPO スクエア (NPO のオフィスシェアリング) の本格稼働と NPO スクエアを拠点とした民間の連携事業の創出

アリスセンターが横浜ワールドポーターズ 6 階の約 60 坪のスペースの一部に事務所移転したのが 2002 年 2 月、その後、入居を希望する団体が増え、2002 年夏には、この 60 坪のスペースに、アリスセンターも含め区分賃借する 9 団体、スモールオフィス (アリスセンターが転貸) の 6 机すべての入居が完了し、「NPO スクエア」として本格稼働を始めました。

NPO スクエアは、分野の違う NPO (市民団体や企業組合など) のオフィスシェアリングの先駆的な取り組みとして注目を集め、2002 年度には、全国各地から見学者が訪れました。

#### NPO スクエア見学の状況 (2002 年 8 月 ~ 2003 年 7 月)

8 月 8 日 静岡大学教育学部助教授	9 月 6 日 NPO くまもと
9 月 12 日 関東経済局 NPO 室	9 月 13 日 北海道 NPO センター
11 月 21 日 韓国の市民団体「開かれた社会市民連合」	
12 月 17 日 神奈川総合高校生	12 月 18 日 横浜市民活動支援センター
1 月 16 日 ふじのくに NPO 活動センター	2 月 17 日 韓国大学生グループ
2 月 27 日 鎌倉市玉縄小学校 4 年生	5 月 8 日 関東学院大学工学部学生
5 月 27 日 ログハウス do! (平塚市)	5 月 28 日 仁荷大学校 (韓国) 教授
6 月 13 日 旭区長	7 月 2 日 大和市役所視察
7 月 7 日 埼玉県上尾市自治振興課	7 月 10 日 産業短期大学生
7 月 16 日 徳島大学生	7 月 18 日 熊本市議会

また、NPO スクエア入居団体を中心とした、民間の事業連携の試みが始まっています。

#### 入居団体間の情報共有による、各団体の相談体制等の拡充

NPO スクエアのそれぞれの NPO が受ける相談においても、同居している専門の NPO と相談内容を共有することで、より具体的な問題解決ができるなど、個別にオフィスを持っているだけでは味わえない利点も多くありました。NPO スクエア入居団体がこうした日常的な連携をはかるために、月 1 回 NPO スクエア連絡会やメーリングリストを設けて、情報交換を進めてきました。

#### 入居団体による NPO の協働事業の創出

NPO スクエア WEB サイトの更新、環境保全分野の市民団体のための WEB サイト (かなび) 構築、神奈川県産材を利用したパーテーション (NPO スクエア入口部分) の作成・設置など、入居団体の協働して、情報発信などの事業に取り組んできました。

#### 横浜ワールドポーターズと NPO スクエアの協働

横浜ワールドポーターズは、「ハートビル法」の基準を満たしたバリアフリーの商業施設であり、年に 1 度バリアフリーフェアを開催しています。2003 年 9 月 28 日に開催されるバリアフリーフェアに向けて、前回に引き続き NPO スクエアも協力し準備を進めてきました。

NPO スクエア WEB サイト <http://www.nposq.jp>

かなび WEB サイト <http://www.kannavi.jp>

## 会員等の状況（2003年7月31日現在）

### 1. 会員数の経年変化

	2000年度末 (2001年7月末)	2001年度末 (2002年7月末)	2002年度末 (2003年7月末)
正会員	120 (156口)	114 (148口)	126 (154口)
準会員	152	159	182
賛助会員	1 (1口)	1 (1口)	0
合計	273	274	308

### 2. 2001年度内の会員数の増減

	2001年度末 (2002年7月末)	2000年度中の 入会者(団体)	2000年度中の 退会者(団体)	2002年度末 (2003年7月末)	増減
正会員	114 (148口)	23	18	126 (154口)	+12
準会員	159	50	27	182	+23
賛助会員	1 (1口)	0	1	0	-1
合計	274	73	46	308	+34

退会者は会費未納により、定款にもとづいて退会とみなした件数も含む

### 3. らびっとにゆうず配信状況

	会員		資料交換		その他		合計	
	2001 年度末	2002 年度末	2001 年度末	2002 年度末	2001 年度末	2001 年度末	2001 年度末	2002 年度末
メールマガジン	188	232	14	12	661	1,084	863	1,328
FAX	56	53	7	7				
郵送	23	23	0	1				

### 4. ホームページアクセス件数

	累計	年度内
2000年度末(2001年7月末)	9900件	9900件
2001年度末(2002年7月末)	22000件	13000件
2002年度末(2003年7月末)	39500件	26500件

## 2002 年度事業一覧

事業項目	事業・プロジェクト	頁
1.まちづくりに関する 政策等の提案	(1) 神奈川子ども未来ファンド支援	7
	(2) NPOスクエアを拠点としたNPO協働事業	8
	(3) NPOの政策提言力、NPOの参画を保障する自治体の政策形成システムの検討(NPOアドボカシープロジェクト)(助成事業) 注1	9
	(4) かながわボランティア活動推進基金 21NPO検討会への参加	9
2.まちづくりに関する 相談・コンサルティング	(5) 市民活動相談・ヒアリング対応	9
	(6) 川崎市地球環境保全行動計画推進会議の運営等に関する業務(受託事業)	9
3.まちづくりに関する情 報収集と提供	(7) ホームページの運営	10
	(8) らびっとにゅうずの発行	10
4.まちづくりに関する 調査研究	(9) 勤労者マルチライフ支援事業(受託事業)	13
5.まちづくりに関する 講座・研修等の企画・運 営	(10) たあとるセミナーの開催	13
	(11) NPO実務セミナーの開催	13
	(12) 専門家向けNPO基礎講座	14
	(13) かながわマネジメントカレッジ企画運営への参加	14
	(14) 「保土ヶ谷区シニアボランティア養成講座」(受託事業)	14
	(15) 南区いきいき(粋・生)ボランティア発見講座	14
6.まちづくりに関する 資料等の発行	(16) 「たあとる通信」の発行	15
	(17) 「ウサギもカメもよくわかるNPOの実務テキスト」発行	15
7.まちづくりに関する 講師等の派遣	(18) 講師等の派遣	16
8.市民団体等に対する 支援・助成	(19) 相模川倶楽部事務局支援	17
	(20) かながわNPO研究会事務局	17
	(21) 大岡川流域まちかわ衆「リバースクール」事務局	17
9.その他	(22) 市民セクター全国会議 2002 実行委員会への参加	18

注1 事業計画では、「NPOと行政の協働のあり方についての事例検証と提言」でしたが、NPOの政策提案力がまず求められるという問題認識により、政策提案に焦点をしばったプロジェクトとしました。

## 各事業の内容

### 1. まちづくりに関する政策等の提案

【成果】NPO スクエアの本格稼働、NPO アドボカシープロジェクトの着手などがあり、政策提案に関するアリスセンターの事業内容が拡充しつつあります。

【方向性】個々のプロジェクトを通して、提案内容の実現や、NPO の政策提案に必要な環境整備という具体的な成果を生み出すこと。NPO 支援組織の重要な機能としての政策提案支援の普及をはかります。

助成金の確保とともに、アリスセンターのサポート財源拡大を図っているが、さらに、NPO の政策提案を支援するための財源開拓が必要であります。

#### (1) 神奈川子ども未来ファンド支援

成果： 神奈川子ども未来ファンドの法人化

寄付のしくみの実現 - マイバック持参運動との連動寄付、チップ寄付

神奈川新聞での新春連載の実現

映画「ハードル」制作サポート活動との連携実現

神奈川子ども未来ファンドは、目的を共有する複数のNPOがネットワークを形成し、新しい組織を立ち上げ、資金を集め、配分する仕組み＝オルタナティブファンドを、日本で初めてつくりだそうとする試みです。2001年より、アリスセンターを含めた県内8つの団体により活動を行ってきました。

2002年度は、組織づくりと寄付の仕組みの実験実施に力を注ぎ、2003年3月には「特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド」が設立しました。アリスセンターは、特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンドの事務局支援を行ってきました。当初からファンドづくりに動いてきたNPO法人コロンプスアカデミーのニュージーランドの関連施設で起こった青年死亡事件(事故)をきっかけに、ファンドの組織と、ファンドが支援する組織に求められる要素についての議論を重ねました。

仕組みづくりは、商店街でのマイバック持参運動との連動寄付の仕組みづくりに、環境保全の市民活動団体とも連携をし、双方の資源を持ち寄る形で仕組みづくりに取り組むことができました。他に、携帯電話代理販売店(株)SNCの「スマイル100」(チップ寄付)などを実施しました。神奈川新聞の2003年新春からの連載で子どもファンドがとりあげられ、この記事から映画「ハードル」の制作支援チケット代金の一部寄付などのしくみが生まれました。

#### 【経過】

2002年8月	神奈川子ども未来ファンドについてNHK朝のニュースで放送 協力依頼：(株)湘南第一興商 / モトスミ・プレーメン通り商店街振興組合 / 横浜信用金庫 /
9月	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブナルク東横浜定例会

	<p>で神奈川子ども未来ファンドの説明  (社)日本青年会議所神奈川ブロック協議会会員大会分科会「市民が支えるNPO」パネリスト  モトスミ・プレーメン通り商店街「頑張れ商店街モデル事業」神奈川子ども未来ファンドキャンペーン打ち合わせ  (株)SNCと神奈川子ども未来ファンドの寄付プログラム同意書取り交わし  (株)まるき店長会議で神奈川子ども未来ファンドの説明  協力依頼:(株)まるき/川崎市幼稚園協会/横浜商工会議所北部支部</p>
10月	<p>カラオケビックエコー(県内4店舗)と神奈川子ども未来ファンド募金箱の打ち合わせ 神奈川子ども未来ファンド提携クレジットカード作成のため(株)東京クレジットサービスと打ち合わせ 協力依頼:本郷台駅前商店街/神奈川ゆめコープ/湘南教職員組合/六角橋商業協同組合/</p>
11月	<p>神奈川県高教組分会代表者会議で神奈川子ども未来ファンドへの協力要請  (株)オリエントコーポレーションと子どもファンドのクレジットカードについて打ち合わせ  県民総務室へ神奈川子ども未来ファンドNPO法人格取得相談  神奈川子ども未来ファンドでモトスミ・プレーメン通り商店街マイバック持参推進キャンペーン参加</p>
12月	<p>特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド設立総会  神奈川子ども未来ファンドNPO法人格取得申請</p>
2003年1月	<p>全通信労働組合横浜南地方支部と打ち合わせ  映画「ハードル」制作サポート券寄付打ち合わせ  協力依頼:(株)大地/横浜商工会議所</p>
2月	<p>モトスミ・プレーメン通り商店街マイバッグアンケートの打ち合わせ</p>
3月	<p>神奈川子どもファンドでコロンブスアカデミー訪問  コロンブスアカデミー青年死亡事件に対する神奈川子ども未来ファンドの対応についてサポーターへの説明  特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド登記完了</p>
4月	<p>コロンブスアカデミー拡大理事会参加</p>
5月	<p>子ども未来サポート会議・よこはま 古川市実行委員会と交流  郵便局自動口座引落打合せ</p>
6月	<p>子どもファンド学生ボランティア希望者オリエンテーション</p>
7月	<p>郵便局自動引き落とし打ち合わせ</p>

## (2) NPOスクエアを拠点としたNPO協働事業

「2002年度の重点的な取り組み(事業計画P4参照)

NPOスクエアのWEBサイト運営

- ・「ピアネットe工房」「市民セクターよこはま」「横浜まちづくりラボ」等がサイト運営のために連携を始めました。

「横浜ワールドポーターズ」のバリアフリーフェア

- ・「横浜まちづくりラボ」「横浜市障害者生活支援グループ」「横浜市自閉症児・者の会」等がかかわり、2003年9月28日(日)のフェア当日はNPOスクエアも開放して参加することになりました。

### (3) NPOの政策提言力、NPOの参画を保障する自治体の政策形成システムの検討(NPOアドボカシープロジェクト)

トヨタ財団からの助成事業

「2002年度の重点的な取り組み(事業計画P3参照)

2002年12月~2003年2月 プロジェクトの企画とトヨタ財団助成金申請

2003年3月 プロジェクトを共同で実施するせんだい・みやぎNPOセンター、市民活動センター神戸との合同ミーティング

2003年5月23日 NPOの政策提案を考える円卓会議

・討論者・プロジェクト関係者 28名

・オブザーバー参加者 40名

2003年6月~7月 政策提案の事例検証(ヒアリング)のための準備作業

### (4) かながわボランティア活動推進基金21NPO検討会への参加

かながわボランティア活動推進基金21は、NPOが県との協働事業を提案(申請)し、県との協働事業を実施する「協働事業負担金」を中心とする基金です。アリスセンターでは、2000年度から2001年度にかけて、基金21に対する政策提案を行ってきました。

2002年5月~6月には、基金21(設置神奈川県)の運営や県とNPOの協働のあり方について検討・提案するためにNPOが集まる「基金21NPO検討会」と、「基金21NPO検討会」参加NPO、基金21審査会・幹事会、神奈川県(県民活動サポートセンター、県民総務室)のメンバーで構成される「基金21協働会議」が発足しています。

アリスセンターでは、基金21NPO検討会と基金21協働会議に参加しました。

## 2. まちづくりに関する相談・コンサルティング

【成果】専門的な相談体制の拡充に向けて、外部の専門家などの協力を得られつつあります。

【方向性】外部の専門家等との協力関係を一層広げ、相談体制の拡充とシステム化をはかります。

### (5) 市民活動相談・ヒアリング対応

市民活動相談としては、NPO法人化に関する相談や、法人化後の会計、税務等の実務に関わる相談が多く寄せられました。その多くが電話相談でしたが、面接相談の場合は、税理士等の専門家が同席し、コンサルティングができる体制を試み始めました。

相談事例については、その概要の記録に着手しました。

### (6) 川崎市地球環境保全行動計画推進会議の運営等に関する業務

川崎市からの受託事業

川崎市の地球環境保全行動計画を推進するために設置されている「川崎市地球環境保全行動計画推進会議」(市民部会、事業者部会、学校部会、行政部会で構成)の運営に関して必要な業務と、2003年2月開催した地球環境フォーラムの企画・運営支援を行いました。また行動計画の改訂作業に際して、推進会議のこれまでの取り組みや推進体制の評価作業を支援しました。

### 3. まちづくりに関する情報収集と提供

【成果】インターネットを通しての情報発信の浸透（ホームページアクセス件数、らびっとにゅうず配信件数の増加）

【方向性】情報提供とあわせて、インターネットを通じた情報収集の環境整備

#### (7) ホームページの運営

メニュー一覧として「トップページ、イベント情報・提供、たあとる通信・配信、紛争地図・リンク、推薦図書、神奈川子ども未来ファンド、マルチライフ支援事業、アリスセンター（総会資料・理事会・事務局・地図・入会案内など）サイトマップ、メール送信」を置きました。複雑にふくらんできたWEBサイトの整理を行い、サイトマップを新たに設置しました。

アクセス件数については、2001年度9900件、2001年度13000件であったものが、2002年度は26500件と、前年度比で倍増しており、ホームページを通しての情報発信が浸透してきたことを伺わせる。

#### (8) 「らびっとにゅうず」の発行

毎月5日・20日、年間21回、メールマガジンとして（インターネットを利用していない会員に対してはFAXと郵送で対応）発行しました。また、県内の課題や活動事例を取材するなどし、トピックスの充実を図りました。配信件数は、2001年度末に863件であったものが、2002年度末には1328件と増えています。

##### トピックスの内容

2002年 8月 15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■怒濤の勢いで出つづけるたあとる通信！！ 早くも、7号発行！！</li> <li>■横浜市が「市民活動共同オフィス管理運営団体」と「入居団体」を募集しています！</li> <li>■NPO経営をサポートするために、専門家の方々と準備をはじめました。</li> <li>■9/7～8「市民セクター全国会議2002」参加申し込み締め切り（8/23）迫る！</li> </ul>
9月 5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■9/12「イギリスの社会的起業家支援に学ぶ」～ロビン・ローランド氏（リンクス・ジャパン顧問）とジョン・スマイリー氏（CANセンター理事）を囲んで～を開催します！</li> <li>■中央労働金庫が社会貢献サイトを創設</li> <li>■9/13より若者の就労支援をしているコロンプスアカデミーが、港南台駅前に「お好み焼きころんぶす2号店」をオープン！</li> <li>■住民基本台帳ネットワーク（国民総背番号制）によるプライバシー侵害から身を守るために、「プライバシーを守りたい川崎市民の会」が「ひとりでも簡単にできる住基ネット中止請求マニュアル」を発表しています。</li> </ul>
9月 20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■アリスセンターは10/23・11/2「専門家向けNPO基礎講座」を開催します</li> <li>■9/7、9/8「市民セクター全国会議2002」が開催されました。</li> <li>■9/12「イギリスの社会的起業家支援に学ぶ」を開催しました。</li> </ul>
10月 9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■NPO法人がなくなる!? - かながわNPO法研究会学習会のお知らせ</li> <li>■横浜市で「親と子のつどいの広場事業」が実施されます。</li> <li>■「横浜市市民活動共同オフィス」での「管理運営団体」と「入居団体」が決定</li> <li>■アリスセンター2002年度総会が開催されました。</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■いきなり企画！「米・カリフォルニア州都サクラメントの市民活動センター所長と</li> </ul>

24日	<p>の意見交換会」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■県内 NPO 法人の皆さんへ 認定 NPO 法人制度を改善するための署名にご協力ねがいます。</li> <li>■基金 21 募集中～何が変わったのか</li> <li>■神奈川子ども未来ファンド設立準備委員会 活動報告</li> </ul>
11月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■かながわ NPO 法研究会主催「中間法人」に関する学習会のご報告 とご案内</li> <li>■神奈川県地域福祉の推進について</li> <li>■JR 東日本が三輪電動車椅子使用者の乗車を拒否！～2002年8月、国土交通省が「交通バリアフリー技術規格調査研究委員会」を設置</li> <li>■横浜市の「まちのルールづくり相談センター」、NPO との協力を模索中。</li> </ul>
11月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■10/29 サクラメントの NPO リソースセンターと県内の NPO 支援組織スタッフが意見交換会を行いました。</li> <li>■11/2「専門家向け NPO 基礎講座」を行いました。</li> <li>■11/18-19「認定 NPO 法人制度」改正決起集会に参加</li> <li>■横須賀市芦名地区産業廃棄物最終処分場が12月から工事スタート</li> <li>■川崎の子育て環境に取組むネットワークが調査に基づいた提言書を市長に提出</li> </ul>
12月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■アリスセンターのチャレンジにご参加下さい！！</li> <li>～サポート財源（会費・寄付）拡大キャンペーンが始まりました。</li> <li>■NPO スクエアに18団体・個人が入居！NPOスクエアサロンも始まっています。</li> <li>■基金 21NPO 検討会のミニシンポジウムのお知らせ</li> </ul>
12月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■NPO法とNPO支援税制の改正が決まりました。</li> <li>～サポート財源（会費・寄付）拡大キャンペーンが始まりました。</li> <li>■12/11NPO法人神奈川子ども未来ファンド設立総会が開催されました。</li> <li>■【市民活動紹介】～自分らしく生きる～メンズリブ神奈川～（取材：日産奨学生 井村）</li> </ul>
2003年1月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■2/18 アリスセンター主催 「寄付を集める」セミナー開催！！ 受講者募集中！</li> <li>■障害者の支援費制度 生活に必要なサービスの利用が制限される？</li> <li>■ごみ焼却場 栄工場建替え計画中止へ</li> </ul>
2月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■3 / 3たあとる通信9号～特集「市民活動と法人制度」を発行します！</li> <li>■3 / 3かながわ NPO 研究会が学習会「公益法人改革を考える」を開催します！</li> <li>■商店街とNPOの連携はいま・・・</li> <li>■2 / 18たあとるセミナー「寄付を集める」が開催されました！</li> </ul>
2月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■2 / 24 ろうきんセミナー「子どもたちの未来を育てよう in 神奈川」が開催されます！</li> <li>■障害者の支援費制度～続報～</li> <li>■NPO法人と政治・選挙活動</li> </ul>
3月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■3月8日 日比谷で反戦（非戦・脱戦）デモが行われます～WORLD PEACE NOW 3.8</li> <li>■3/15「協働のありかたシンポジウム」 市民と行政で創る"HOT CITY"よこはま 申込締切迫る！（主催：協働のありかた研究会 / 横浜市）</li> <li>■3/16「協働フォーラム」ボランティア団体等と行政のパートナーシップの構築に向けて～協働の手引きを通して見えてきた実態・事例から～（主催：神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター）</li> <li>■インターナショナルコロブスアカデミー青年死亡事件に関して</li> </ul>
3月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもたちのピカピカの笑顔をもるために「入学おめでとう応援隊」ボランティア募集！！</li> <li>■今、平和をつくりだすために</li> <li>■4/18 第2回たあとるセミナー「市民活動と法人制度」受講者募集中！</li> <li>■神奈川県知事選挙立候補予定者、県議会議員選挙立候補予定者（藤沢市/港北区）、横浜市議会議員立候補者（港北区）に対する公開アンケートの結果が公表されて</li> </ul>

	<p>います。</p> <p>■国際ナショナルコロンブスアカデミー青年死亡事件に関して</p>
4月 20日	<p>■かながわNPOマネジメント・カレッジ 2003 基礎編 横浜会場(5/14, 5/21), 藤沢会場(5/17) 小田原会場(5/18), 相模原会場(5/24) もうすぐ定員です!お申込みお急ぎください!</p> <p>■5/5~5/11 子どもの日チャイルドライン TEL0120-7-26266(1週間無料)</p> <p>■4/26 バリアフリーインターネットカフェ~情報コミュニティサロン animi~みなとみらい21地区にオープン</p> <p>■5/24 (土)のむぎ平和のバラ園&amp;喫茶オープン</p>
4月 5日	<p>■アリス新プロジェクト「NPOの政策提案力の開発と、NPOの参画を保障する自治体の政策形成システムの提案」スタートします。</p> <p>■かながわNPO研究会より公益法人制度改革に関する論点整理が出されました。</p> <p>■住民基本台帳ネットワーク市民アンケートにご協力を!(住基ネットに「不参加」を!横浜市民の会より)</p>
5月 20日	<p>■アリスセンター季刊誌たあと通信10号 特集「NPOはまちの`姿`を提案できるか?~都市計画の提案権を考える」を5月30日に発行します!</p> <p>■7/10 第3回たあと通信セミナー「NPOはまちの`姿`を提案できるか?~都市計画の提案権を考える」を開催します!</p> <p>■かながわ環境活動情報支援プロジェクト(仮称)を立ち上げました!</p> <p>■片倉うさぎ山公園あそびの林プレーリーダー基金へのご協力を!</p> <p>■(株)福祉村が事務所同居「市民起業法人・NPO法人」求めています。</p>
6月 5日	<p>■株式会社角川ホールディングス(角川書店)の「NPO」商標登録について</p> <p>■「NPOの政策提案力を考える円卓会議」を行いました。</p> <p>■アリスセンター主催NPO実務講座-会計・税務・労務、申込受付中です。</p> <p>■斜面緑地や里山をマンション建設などの開発から守るために</p> <p>■相模川上大島河川敷入り口ゲートの開閉に関して市民(カヌー仲間)と行政の話し合いが続いています。</p>
6月 20日	<p>■NPO スクエアにてスモールオフィス入居者募集</p> <p>■総合学習へ講師紹介「厚木市立三田小学校」と「あいかわ自然ネットワーク」</p> <p>■学習会の出前「停電問題と原子力」</p> <p>■アトピッコハウスがアレルギーフリー住宅「家丸ごと1軒」を直接請け負います。</p> <p>■トコポンプロジェクトよりお知らせ「NPO失敗大賞 大募集!!!」</p>
7月 5日	<p>■アリスセンター(特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ)スタッフを募集します。</p> <p>■「NPO」の商標登録に対する取り組みの経過とその後の対応について、また資料提供のお願い。</p> <p>■大和市の移動サービスNPOが構造改革特区にとりくんでいます</p> <p>■神奈川県子ども未来ファンドの組織及び事業の見直しに関する経過の報告がありました。</p> <p>■アリスセンター総会のお知らせと理事会報告をいたします。</p>
7月 20日	<p>■7月11日付けで、相模大塚住民訴訟の上告(最高裁)が不受理となりました。(川嶋)</p> <p>■たあと通信11号(特集「NPOと政治」)近日発行!</p> <p>■環境NPOに対してボランティア受け入れやインターネットに関するアンケートを開始します。</p> <p>■たあと通信11号 チラシ同封募集</p> <p>■アリスセンター2003年度総会9月30日に行います。</p>

## 4. まちづくりに関する調査研究

### (9) 勤労者マルチライフ支援事業

勤労者リフレッシュ振興財団からの受託事業

地域の市民活動情報を収集し、勤労者が関心のある社会活動に参加できるよう具体的な事例を提供するために「ここで80」を参画し、大人の社会見学を始めました。また勤労者向けの出前講座メニューを開発し、出張講座を行いました。

## 5. まちづくりに関する講座・研修等の企画・運営

【成果】自主事業としての講座・研修事業の拡充。アリスセンターの蓄積（たあと通信、専門家とのネットワーク）の活用と普及を図ることができました。

NPOのマネジメントや実務に関して、研修プログラムとしての蓄積がはかられました。

【方向性】アリスセンターの蓄積を生かした講座・研修事業を定着、浸透させるとともに、採算性の確保を旨とします。

### (10) 「たあとセミナー」の開催

【成果】たあと通信取材・編集を通じた蓄積の積極活用。

たあと通信8号以降、各号発行後に、特集テーマについて解説を行うセミナーを開催しました。発行後に、内容についての反応や質問をうける機会をつくることで、たあと通信を通じた双方向のやりとりを生むことができました。理事や事務局スタッフが講師となり、アリスセンターの持つ資源を顕在化させ、活用を引き出すねらいもありました。セミナーのPRが「たあと通信」のPRにもつながり、たあとセミナーを通じてたあと通信の頒布冊数が増えるという相乗効果がみられました。

2003年2月18日	「寄付を集める」講師：山口郁子・菅原敏夫 参加者 32名
2003年4月18日	「市民活動と法人制度」講師：川崎あや・菅原敏夫 参加者 19名
2003年7月10日	「都市計画の提案権」講師：内海宏・饗庭伸 参加者 35名

### (11) NPO実務講座の開催

【成果】実習を交えた実践的NPO実務講座の実施。

NPOに関して見識の深い、税理士・社会保健労務士・中小企業診断士・行政書士などの専門家とプロジェクトチームをつくり、複数のNPOへのヒアリングを行い、NPOの実態について検討の後、NPOを対象としたNPO実務講座（2003年7月12日19日26日いずれも土曜日9時～17時、述べ参加者数118名）を実施しました。マネジメントカレッジに併せて実務面を補強する講座としても開催しました。

## (12) 専門家向けNPO基礎講座

【成果】専門家という、これまでにない対象のNPO基礎講座を実施できました。

アウトカム：各地（仙台・千葉）でも専門家向けのNPO講座が開催される

NPOに関して見識の深い専門家のプロジェクトチームの協力を得て、専門家を対象としたNPO基礎講座（2002年11月2日、参加者数35名）開催しました。

## (13) かながわNPOマネジメント・カレッジ企画運営への参加

共催事業、I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所]からの受託事業

神奈川県福祉事業協会、神奈川県遊技場協同組合主催で、2001年から開催されている「かながわNPOマネジメント・カレッジ」に、昨年に引き続き共催団体として企画参加しました。また、今年度は、事務局業務を受託し運営を担いました。今年度は、更に共催団体が11団体（下記）に増え、県内支援センターの連携の礎づくりの場としても機能しました。

基礎編を県内5ヶ所で開催、専門編を4講座（人材育成、自主財源の拡充、組織の見直し戦略づくり、福祉サービスのリスクマネジメント）開催し、のべ400名が参加しました。

【かながわNPOマネジメント・カレッジ2003関係団体一覧】

主 催：神奈川県福祉事業協会・神奈川県遊技場協同組合

共 催：かながわ県民活動サポートセンター／横浜市市民活動支援センター／市民セクターよこはま／まちづくり情報センターかながわ（アリスセンター）／鎌倉市市民活動センター運営会議／藤沢市市民活動推進連絡会／ふじさわNPO連絡会／横須賀市立市民活動サポートセンター／茅ヶ崎市市民活動サポートセンター／さがみはら市民活動サポートセンター／おだわら市民活動サポートセンター

運営企画協力：I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所]

## (14) 「保土ヶ谷区シニアボランティア養成講座」の企画運営（受託事業）

保土ヶ谷区からの受託事業。保土ヶ谷区福祉保健センター主催講座の企画運営。

40歳以上の男性を中心にボランティアの裾野を広げるために、「1人で見つける、夫婦で見つけるボランティアの種」と題した講座を2002年10月5日～10月19日の間に計3回実施しました。

## (15) 南区いきいき（粹・生）ボランティア発見講座

南区社会福祉協議会からの受託事業。南区社会福祉協議会・南区役所主催講座の企画運営

55歳以上の男女を対象に、新しいボランティア組織立ち上げを視野にいれた講座を2002年11月16日と11月30日の2回実施しました。

## 6. まちづくりに関する資料等の発行

【成果】たあとる通信の浸透（頒布冊数の増加）、専門家の知識とアリスセンターの経験を生かした実務テキストの発行を行いました。

【方向性】アリスセンターの蓄積を生かしつつ、外部の専門家等の協力を得て、発行物を作成することで、まちづくりやNPOに対する問題提起やノウハウの提供を充実させていきます。

### (16)「たあとる通信」の発行

11号	特集「NPOと政治」 鼎談「NPOは政治活動・選挙活動が制限されるか～NPO法の立法過程と市民社会への道のり」 統一地方選県内NPOの取り組みレポート 報告「NPOの政策提案力を考える円卓会議」	B5判 60p
10号	特集「NPOはまちの”姿”を提案できるか？～都市計画の提案権を考える」 提案権の意義・限界・効果、求められる自治体取組 鼎談「神奈川の市町村合併と都市内分権」	B5判 56p
9号	特集「市民活動と法人制度」 各法人の制度・特色一覧表「こんなときにはこんな法人格」一覧 「公益法人制度の抜本的改革」なぜ検討されているのか、改革案の問題点	B5判 55p
8号	特集「寄付を集める」 寄付の集め方・事例とノウハウ NPOの共同資金開拓・オルタナティブファンド 寄付と税制 イギリスの社会的起業家支援に学ぶ	B5判 45p

### (17)「ウサギもカメもよくわかるNPOの実務テキスト」発行

NPOを対象としたNPO実務講座の開催に併せ、初心者が実務を理解するためのテキストを、会計、税務、労務の3種類発行しました。

NPOの会計	A4版 40ページ/頒布価格700円 内容：何のための会計か・会計の基礎用語・会計手順・会計帳簿の体系・決算の方法・認定NPO法人・各種申告書届出書様式・神奈川県内関係窓口一覧
NPOの税務	A4版 70ページ/頒布価格1,500円 内容：NPOと税金・NPOに関係する税金の種類と税務手続・法人設立時に税務署に届ける書類・法人に義務付けられている税金徴収事務・法人税の課税対象・収益事業・認定NPO法人・各種申告書届出書様式・神奈川県内関係窓口一覧
NPOの労務	A4版 110ページ/頒布価格1,500円 内容：NPOになぜ「労務」が必要か・必要な基礎知識（労働者や事業主とは何か、労働法の社会的位置付け・労働条件と就業規則（賃金・労働時間・休憩・休日及び年次有給休暇・退職や解雇・災害補償）労働保険制度と社会保険制度（どんな場合に加入？・手続き事務と計算・納付と費用負担）事務所に備えておく必要のある書類・関連法文・就業規則例など各種届出様式・神奈川県内関係窓口一覧

## 7. まちづくりに関する講師等の派遣

### (18) 講師等の派遣

#### 【講師・パネリスト派遣先】

横浜市「協働のありかたシンポジウム」パネリスト・分科会進行役  
横浜市保土ヶ谷区「シニアボランティア講座」コーディネーター  
横浜市都筑区「グループ活動応援講座」講師  
横浜市南区「いきいきボランティア講座」コーディネーター  
横浜市神奈川区「生涯学習ワークショップ」講師  
横浜市大商学部「非営利組織のマネジメントに関する研究会」講師  
相模原市「自然環境観察員リーダー養成講座ワークショップ」講師  
座間市「いさまふるさと塾」講師  
厚木市立三田小学校・総合学習講師  
関東学院大学工学部・講師  
関東学院大学「NPOマネジメント」講義  
法政大学・講義  
中央労金セミナー「神奈川の子どもたちは今」パネラー  
トキコ株式会社「社会貢献出前講座」講師  
生活クラブまちづくりアクション2003ファシリテーター養成講座  
生活クラブ「まちづくりアクション2003スタート講座」講師  
生活福祉ネットワーク・講師  
神奈川県社協「第41回神奈川県社会福祉研究発表大会分科会」コーディネーター  
城山町社協「子育て支援ボランティア養成講座」講師  
青少年総合研修センター「サークル運営にデジタル機器を活かす」講師  
日本NPOセンター「NPO支援センタースタッフ研修会(熊本)」講師  
せんだい・みやぎNPOセンター「市民ライター&デザイナー養成講座」講師  
「今協同を拓く2002全国集会IN千葉」パネリスト  
名古屋パートナーシップサポートセンター主催座談会出席  
日本財団「助成成果報告セミナー」事例報告  
千代田区「男女共同参画センターセミナー」講師  
西東京市「市民との協働推進懇談会」講師  
(特) たすけあいゆい「NPO介護保険事務所マネージャー育成研修」講師

## 【委員会等】

神奈川県「社会福祉審議会福祉専門分科会地域福祉推進部会懇談会」(川崎)  
神奈川県「多様な働き方研究会」(川崎)  
川崎市「地球環境保全行動計画推進会議」(川崎)  
横浜市「市民活動推進委員会専門部会(協働についての部会)」(川崎)  
横浜市財政局「横浜市中期財政ビジョンについての検討会」(川崎)  
横浜市「男女共同参画推進審議会」(米田)  
横浜市「地域福祉計画策定・推進委員会」(米田)  
横浜市泉区「いきいき区民支援会議」(米田)  
横浜市「親子のつどいの広場運営協議会」(米田)  
横浜市ボランティアセンター「運営委員会」(米田)  
藤沢市「市民活動推進委員会」(川崎)  
中央労金「NPO 懇談会」(川崎)  
(財)地球産業文化研究所「協働のための企業・自治体の視点からのNPO評価研究会」(川崎)  
(財)河川環境管理財団「相模川土砂管理委員会」(川嶋)

## 8. 市民団体等に対する支援・助成

### (18) 相模川倶楽部事務局支援

昨年度に引き続き事務局支援を行いました。相模川倶楽部の総会で平塚事務所への移転を決定し、移行手続きを行いました。

### (19) かながわNPO研究会事務局

【成果】全国に先駆けて、公益法人改革についての問題提起を行いました。

2001年度に引き続き、NPO法やNPO支援税制への取り組みを中心に県内のNPO法人、法人化をめざす団体を支援してきた「かながわNPO法研究会」の事務局を担いました。制度への提言・学習活動の他に、相互サポートの要素を盛り込み、名称を「かながわNPO法研究会」から「かながわNPO研究会」に改組税制再スタートアップ講座(2002年7月・8月、非営利法人制度改革の動きを追う学習会(2002年10月・11月)を実施、ニュースレターを通じて非営利法人制度や税制など、NPO法人に限定しない幅広い視野から、法人制度や税制などの環境整備のあり方を学習、発信しました。

### (20) 大岡川流域まちかわ衆「大岡川リバーズスクール」事務局

大岡川まちかわ衆が行う「大岡川リバーズスクール」の連絡窓口として事務局支援を行いました。

## 9 . その他

### ( 2 2 ) 市民セクター全国会議 2002 実行委員会への参加

2002年9月7日～8日に開催された「市民セクター全国会議 2002」に実行委員会構成団体として参加しました。

### 総会・理事会等、開催記録

#### 総会

2002年度通常総会 9月25日、

#### 2002年度理事会

第1回 2002年8月28日、第2回 10月18日、第3回 11月29日、第4回 12月19日、  
第5回 2003年1月22日、第6回 2月26日、第7回 4月9日、第8回 5月28日、  
第9回 6月20日、第10回 7月29日